

昭和から平成。そして、新たな時代へ語り継ぎたい物語。 知られざるヒロインたちの感動の実話、遂に映画化！



怒った。泣いた。笑った。そして、生きた。

1944年の東京。20代を中心とした若手保母たちが、国の決定を待たず、日本で初めて園児を連れての集団疎開を敢行した、いわゆる「疎開保育園」の事実はあまり知られていない。これは、幾多の困難を乗り越え、託されたいのちを守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語。大切なのちを未来へつなぐことを願い、毎日を必死で戦った保母たち。強い信念で時代を切り拓いていった彼女たちの生き様は、時を越えて今を生きる我々を魅了し、大きな勇気と希望を与えてくれる。主演は、目覚ましい活躍を続ける実力派女優・戸田恵梨香と、女優・歌手としてフィールドを広げる大原櫻子。また、今後の映画界を牽引する期待の新鋭俳優たちが共演し、林家正蔵、夏川結衣、田中直樹、橋爪功ら日本を代表する俳優たちが脇を固める。メガホンをとるのは『ひまわりと子犬の7日間』の監督であり、長年山田洋次監督との共同脚本、助監督を務めてきた平松恵美子。



STORY

戸越保育所の主任保母・板倉楓は、園児たちを空襲から守るために、親元から遠く離れた疎開先を模索していた。最初は反発していた親たちも、子どもだけでも生き延びて欲しいという一心で保母たちに我が子を託すことを決意。しかし、ようやく見つかった受け入れ先是ボロボロの荒れ寺だった。幼い子どもたちとの生活は問題が山積み。それでも保母たちは、子どもたちと向き合い、みっちゃん先生はオルガンを奏で、みんなを勇気づけていた。そんな願いをよそに1945年3月10日、米軍の爆撃機が東京を襲来。やがて、疎開先にも徐々に戦争の影が迫っていた――。



太平洋戦争末期、53人の子どものいのちを守った保母たちがいた。
誰もが自分のことで精一杯だった時代、彼女たちを突き動かしたものとは一体なんだったのか？

あの日のオルガン

anoji-organ.com
2018年/119分/カラー/ビスタ/5.1ch ©2018「あの日のオルガン」製作委員会

社会福祉法人 豊川保育園 70周年記念上映会

スケジュール予定 (企画段階のため多少内容に変更があるかもしれません)

- 9:30 開場 明桜中体育館にて 9:45 オープニングと 10:00 映画「あの日のオルガン」上映
12:00 映画上映後は豊川保育園またはとしま みつばち保育園へ移動をお願いいたします。
体育館は後片付けのため閉鎖します。
- 12:00 開場 としま みつばち保育園にて軽食と歓談（中学生以上対象） 15:00 終了予定
- 10:00 開場 豊川保育園にて 70年の歩み資料展示と保育園映画（佐藤真監督）上映
入場無料。お子様も入場できます。15:00 終了予定
佐藤真監督 保育園映画：保育園の日曜日(20分)／女神様からの手紙(30分)



社会福祉法人 豊川保育園 70周年記念上映会

あの日の オルガン



戸田恵梨香 大原櫻子

佐久間由衣 三浦透子 堀田真由 福地桃子 白石糸 奥村佳恵
萩原利久 山中崇 田畠智子 陽月華 松金よね子
林家正蔵 夏川結衣 田中直樹 橋爪功

監督・脚本：平松恵美子

原作：久保つごこ「あの日のオルガン 疎開保育園物語」(朝日新聞出版)
音楽：村松崇徳 主題歌：アン・サリー「満月の夕(2018ver.)」(ソングエクス・ジャズ)

エグゼクティブプロデューサー：李鳳宇 プロデューサー：三宅はるみ 企画：鳥居明夫 李鳳宇

協賛：トラン 東京福祉大学 全国私立幼稚園連合会 全国認定こども園協会

全国国公立幼稚園・こども園協会 公益社団法人全国児童教育研究協会 一般社団法人全国保育士養成協議会 日本子ども子育て支援センター連絡協議会 公益社団法人日本仏教保育協会
全国保育団体連絡会 全国保育問題研究協議会 一般財団法人日本道徳会 日本更生保護女性連盟 全日本民主医療機関連合会 東京都品川区 東京都新宿区 埼玉県蓮田市

製作：あの日のオルガン製作委員会 (マンシーエンターテインメント、ジャパン・ネットワーク、スローネマ・ネットワーク、中央映画販賣、朝日新聞社、インジスター)

助成：スバル 文化庁文化芸術振興費補助金 文部科学省特別選定作品(一般映画)「少年向き・青年向き・成人向き・家庭向き H30.11.27) 厚生労働省社会保障審議会推薦(児童福祉文化財)

配給：ジャパン・スローネマ・ネットワーク、マンシーエンターテインメント 2018年 / 119分 カラー / ビスタ / 5.1ch ©2018「あの日のオルガン」製作委員会

G 読書

anoji-organ.com

2026年1月18日(日) 9:30 開場 上映時間 120分
北区立明桜中学校体育館 70周年企画参加費：1,000円



子どもたちを守るために、保育園ごと疎開させる。知られざるヒロインたちの実話を映画化!



1.18.sun
豊川保育園
70周年上映会

大切なのは子どもの笑顔、 それは未来への希望だから

本作品は、太平洋戦争末期、「疎開保育はできます！」一人の若い保母の言葉が父母を動かし、空襲が日増しに激しさを増す東京から、埼玉の平野村（現蓮田市）へ園児の集団疎開を敢行した事実を映画化したものです。全国で初めてであり、保母は全員20代でした。2019年2月、全国上映がスタート、その後各地で自主上映会が展開されています。私たちがぜひこの北区で上映を！と思いついたのには理由があります。戦火を生き延びた保育士たちは、戦後、各地で青空保育から出発し、全力で保育に邁進しました。北区でも豊川保育園、神谷保育園、クラブ保育園が誕生しました。厳しい疎開保育の体験が平和の時を得て、花開いたといつても過言ではありません。今なお、世界では紛争や災害が止まず、緊急支援を必要としている子どもたちが後を絶ちません。それらに直面した時、私たちはどうそれに立ち向かうのだろうか？この映画は過去を乗り越え、これから私たちに問いかれます。一人でも多くの方に観ていただき、この上映会を成功させることで、彼女たちの大きな平和への意思を受け継いでいきたいと思っています。

主催：映画「あの日のオルガン」北区上映会実行委員会

軍都と言われた北区の地にも
平和が訪れた。
兵器廠跡地に
子どもたちの声が響き渡る。



園舎は動かなくなったバスを払い下げてもらった。
毎日たくさんの子どもたちが
青空保育に集まってきた。



私たちも
鑑賞しました！



さいたま県にそかいして2回空襲がきて、
それをのりこえて東京にかえられたのが
すごいと思いました。 小4・男子

戦時中、子供たちのために働いた保母さんが品
川戸越の保母さんだったということが素晴らしい
く多くの方に見て頂きたいと思った。40代・女性

悲惨な映画とは違い、
どこかホッとする映画でした。

子供は常に次世代を築く宝だ。それに携わる親、
保育者はそのことを忘れてはならない。
後世に伝える良い映画でした。 80代・女性

映画「あの日のオルガン」北区上映に寄せて



疎開保育についてのルポルタージュを初めて読んだのは、2014年のことでした。その時の驚きをいまだに忘れません。二十代の青春真っ盛りの若い保母たちが、幼い子どもたちを空襲の惨禍から守るためにだけに、年長の親御さんを説得して決行した事実。彼女たちの情熱。意気込み。そしてそうさせた戦争というもの。保母たちが成し遂げた疎開保育を若い出演者や子どもたちとワアワア言いながら作ったのが『あの日のオルガン』という映画です。

疎開保育を牽引した保母の一人、畠谷光代先生が戦後創立した豊川保育園のある北区で上映いただることを嬉しく思っています。そして、ここから保育・命・平和へと語り合いが広がればと心から願います。

元疎開保育園児 小倉みどり（旧姓野口）さんが語る当時の思い出 ～先生は、晴れやかな太陽のような存在でした～

後年、畠谷先生がご自身の手記に、私たち6人が小学校に上がった喜びを記してくださいます。親と別れている6人と、小学校の入学式に出席した帰り道、こんなにおめでたく嬉しいことはないと感じたと。私も、先生が心から喜んで私たちと一緒にしゃいでくれたことを覚えています。その明るさでいつも照らしてくれたおかげで、私たち子どもが希望を持って学校に行けたのです。

自分自身が親になり、子どもや孫が学齢に達しランドセルを背負っている姿を見て、こんなに嬉しいものなのかと思いました。疎開先で入学した私たちの親にはなかった経験です。そもそも、あの当時、ランドセルってあったのかしら。もしかしたらランドセルではなかったかもしれません。

私は不思議と、お寺の庭で無心に遊んだことなどを楽しく覚えています。戸越保育所は教育方針をしっかりと確立していて、おそらくは365日ちゃんと保育計画があったのだと思います。それでも、子どもらしく夢中になってお寺の土をほじくり続けたり虫と遊んだり、なんの憂いもなく無心になれる時間がありました。防空壕のなかでも紙芝居や人形劇を見していました。あのような時代にも関わらず、子どもらしく安心していられたこと、それは先生方がそれはもう必死で子ども達を守り、人間らしい生活のために尽くしてくださいました。



小倉さんが当時に思いを馳せて作られた5センチほどの可愛いランダセル

53人の子どもたちを一人も死なせないという覚悟で、19歳から27歳の先生たちが自分の青春をなげうって守ってくれました。温かくつぶんでくれました。畠谷先生の、お父様、お母様も空襲でお亡くなりになりました。20代の若い先生が、両親を亡くしても、すぐに蓮田へ戻ってきてくれた。子ども達のためにです。

ですから私は、幼稚園の先生になりました。

大人になって幼稚園で働き、当時の先生方へ改めて感謝の念がわいてきます。

そして、いま子育てで行き詰っている親子や、つらい目にあってる子ども達を守りたいし、このようなお話を伝えていきたいと感じます。

（談話の一部抜粋 令和元年9月4日大井町にて、（聞き手は品川区実行委員会事務局 小俣事務局長）

小倉みどりさん（旧姓野口）PROFILE

ご家族と千葉県船橋市在住。
戦争当時は、戸越小学校の近く（品川区豊町）にお住まいでした。
疎開保育所では6歳年長組。
戦後は、幼稚園教諭として長年勤務され、現在も子育てに関わる活動を続けられています。

戸田恵梨香さん、
朝のヒロインに！！



会場でも販売します！

絶賛発売中！！
原作本・久保つぎこ著



2019年度前期の朝の連続テレビ小説には、大原櫻子さん、福地桃子さんが出演、後期には「怒りの乙女」こと、主演の板倉楓役の戸田恵梨香さんが『スカーレット』のヒロインに抜擢！毎朝お茶の間でお姿を拝見できますね！